学校番号	３０１８

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教材等	攻略！共通テスト数学Ⅰ＋A，Ⅱ＋B＋C　（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

共通テスト対策の教材を用いて毎時間演習および解説を行います。これまでに学習した数学に比べて難易度も高く、計算量も多いので、授業 50 分でできることには限りがあります。頻出問題の解法やポイントをよく理解し、授業外の時間で繰り返し復習することが大切です。重要なことや計算をメモするために、学習ノートを用意しておきましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を養い、数学的活動を通じて、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目標とする。

（１）　２次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形の性質、整数の性質に関する一連の概念・原理を体系的に理解している。また、ある事象を数学的に解釈し、表現・処理する技術を身につける。

（２）２次関数、図形と計量、データの分析、集合と命題、場合の数と確率、図形の性質、整数の性質に関して、事象を数学的に考えてわかりやすく表現したり、それぞれの要素を相互に関連付けて考察したりすることができる、またどの　ように思考したか振り返り多面的・発展的に考えることができる。

（３）数学のよさを認識し、意欲的に数学の技能を活用しようとしたり、数学的論拠に基づいて粘り強く考え、判断したりすることができる。また問題を解くにあたっての過程を振り返り、評価・改善をすることができる

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	授業内の演習および小テストの中で問われる基本的な計算ができ、必要な公式が正しく利用できること。	授業内の演習および小テストの中で問われる、思考力・判断力を必要とする発展的な問題が解けること。自身の思考を他者に分かりやすく表現すること。	遅刻・欠席をせず授業に参加し、他の生徒と教え合いながら問題を解くことでお互いに実力を高めようとする主体性、および、授業で学習した内容を、別途課題に取り組むことでより深く定着しようとする主体性をもつこと。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	数学Ⅰ	・数と式 ・2 次関数	a: 基本的な計算ができ、必要な公式が正しく利用できること。 b: 思考力・判断力を必要とする発展的な問題が解けること。自身の思考を他者に分かりやすく表現すること。 c: 遅刻・欠席をせず授業に参加し、他の生徒と教え合いながら問題を解くことでお互いに実力を高めようとする主体性、および、授業で学習した内容を、別途課題に取り組むことでより深く定着しようとする主体性をもつこと。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト	・授業中のプリント ・課題などの提出物
	数学Ⅰ	・図形と計量 ・集合と論証 ・データの分析		・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト	・授業中のプリント ・課題などの提出物
二学期	数学Ａ	・場合の数と確率 ・整数の性質		・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト	・授業中のプリント ・課題などの提出物
	・数学Ａ ・総合問題演習	・図形の性質 ・総合問題演習		・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト	・授業中のプリント ・課題などの提出物
三学期	総合問題演習	共通テスト(センター試験)過去問演習		・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト	・授業中のプリント ・課題などの提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度